

# 「ウイルスに対してリンパ球を使って 治りようする研究」について

## 1. はじめに

これから、「ウイルスに対してリンパ球を使って治りようする研究」について説明をします。

あなたは、今、このような症状はありませんか？熱が続く、せきがでる、おなかをこわしている（下痢をしている）、おなかが痛い、おしっこをするとき痛い、おしっこが赤い、なんかぼーっとする、目が見えにくい、頭が痛い、首の周りが腫れている、皮膚がいつもより黄色い（黄疸）、皮膚に発疹（赤くなったり、ぽつぽつとしたりするもの）がある…（あなたの症状に○をつけて説明します）。

せきがでる・・・



熱が出てつらい・・・



このような症状は、あなたがウイルス（サイトメガロウイルス、EBウイルス、アデノウイルス、BKウイルス、ヒトヘルペスウイルス6型）にかかっているために（あなたがかかっているウイルスに○をつけます）、おきていることがわかりました。○○○ウイルス感染症という病気です。あなたは、造血細胞移植という血液の元と

なる細胞の移植を受けましたが（この治りょうについては既に先生たちから説明があったと思います。もしわからないことや確認しておきたいことがあったら、ここでまた説明させてください）、まだ（ウイルスなどを攻撃する（やっつける））免疫の力が弱くてそのためにウイルスが悪さをしている状態です。このウイルスは通常は、もともと身体の中において、十分な免疫の力があれば、やっつけることができるのです。

先生たちはこの病気の治りょうのために、ウイルスを殺す薬を使ったり、あなたの免疫（ウイルスなどを攻撃する力）を強くしたりするような治りょうを行いましたがまだ退治<sup>たいじ</sup>できていません。

この研究では、あなたがかかっているウイルス感染症に対して新しい治りょう方法を行って、副作用<sup>ふくさよう</sup>（熱がもっと高くなる、発疹<sup>ほっしん</sup>がでる、などの良くない反応）がでないか調べ、さらにウイルスが減るか、なども調べたいと思っています。

説明をよく聞いて「ウイルスに対してリンパ球を使って治りょうする研究」に参加<sup>さんか</sup>してみてもよいか、考えてください。わからないことがあったら、いつでも聞いてくださいね。

## 2. どんなことをするの？

あなたがこの研究に参加することを決めてくれたら、あなたのお父さん、お母さん、あるいはお兄さん・お姉さん（いずれかに〇をつけます）から血液を50ccぐらいもらって、ウイルスを攻撃するリンパ球（白血球の中でも特にウイルスなどの敵と戦う細胞のこと）を、特別なきれいな部屋で増やして、それをあなたに注射します。血液をくれる人をドナーと呼びますが、ドナーの方が、この研究に参加することを決めてくれたら採血することになります。この血液を使って増やしたリンパ球を、あなたの点滴の管から入れることになります。1回でうまくいってくれたら、それで治りようはおしまいです。もしうまくいかなかったら2週間以上あけて、4回まで治りようすることになります。

この治りようがうまくいっているか、あなたの体に悪いことが起きないかを調べるために、2週間に一回ぐらいいつもより5-10ccぐらい多く血液をもらうことになります。

## 3. こんなことがあるかもしれません

### 〈よいこと〉

この研究による治りようがうまくいくと、あなたの体の中にいるウイルスをやっつけたり、ウイルスの数を少し減らしたりすることができるかもしれません。またあなたの症状が良くなるかもしれません。ただし、今までに日本では同じ治りようを行ったことがないので（アメリカでは同じような研究が行われていて、きく人もあったとされています）、この研究を行って見ないと、きくかどうかはわかりません。

## 〈良くないこと〉

この治りょうを行うと、ドナーのリンパ球が、あなたのことを敵と違って、GVHD（ジープイエイチディー）という良くない反応をおこすことがあります。これは造血細胞移植をする前に、先生たちから説明を受けたと思います。ドナーのリンパ球があなたを攻撃して、熱がでたり、発疹がでたり、おなかが痛くなったり、おなかがゆるくなったりする反応のことです。わからないことや、忘れてしまったことがあったら、また詳しく説明しますからきいてくださいね。またすごく細い血液を運ぶ管（血管）がつまって、うんちに血が混じったりすることがあるとされています。もしそうになったら、早くみつけて、きちんと治りょうします。

### 4. 心配なことは聞いてください

この研究に参加するかどうかは、あなたがよく考えて決めてください。

参加しなくても、これからのあなたの治りょうには、これまで通り全力で取り組みます。

心配なことがあったり、あなたの気持ちがかわったりしたら、教えてください。先生やおうちの人と相談して、とちゅうでやめることもできます。

この研究について分からないこと、こまったこと、心配なことがあれば、聞いてくださいね。

【<sup>たんとう</sup>担当の先生の名前と電話番号】

病院名	東京医科歯科大学医学部小児科
電話番号	03-5803-5674
担当の先生の名前	

